

特定非営利活動法人 人権センターながの

資料 1 - 1

【目的】

部落差別をはじめ一切の差別の撤廃をはかるため、歴史、社会、経済、法律、文化、教育、運動に関する調査、研究並びに教育、啓発活動を実施するとともに、会員相互の研修や、人権確立に向けた県民の意識向上をはかり、一人ひとりが創造し、実践し、つながっていくために寄与することを目的とする。

【設立日】 2003年 8月10日 設立総会
" 11月21日 法人認可

【事業】(主な事業概要)

[1] 調査研究事業

調査事業

- ・人権にかかわる住民意識調査、同和地区生活実態調査 千曲市、中高地区4市町村
- ・「職員採用にかかわる受験申込書」関係調査・集計分析・公表
- ・「公正採用」に係わる研修のあり方
- ・高齢者福祉実態調査

研究事業

- ・長野県部落史調査委員会
- ・教育部会の設置
- ・東日本部落解放研究所 ・「同和教育の検証」
- ・(財)信州農村開発史研究所

[2] 講師派遣事業 (さまざまな人権問題、年100件をこえる)

[3] 情報提供事業

- ・人権センターながの通信
- ・全国の人権関係機関ネットワーク

[4] 相談・支援事業 (さまざまな人権問題の相談)(「相談者から支援者に」)

[5] 企画相談支援事業

- ・島崎藤村『破戒』100年
- ・「社会人権教育リーダー養成講座」
- ・各市町村の人権集会
- ・出版・人権差別問題懇話会現地研修
- ・「公正採用」・就職差別
- ・人権コンサート
- ・さまざまな人権問題
- ・「エセ」行為への対応
- ・人権問題冊子の作成

[6] 交流連携促進事業

- ・大学関係等、被差別部落での学習交流
- ・全国盲導犬交流会
- ・インド・ダリット支援
- ・「ハンセン病問題」栗生楽泉園研修・フィールドワーク
- ・全国モツ(ホルモン・サミット)in長野(2007年11月)
- ・各団体、被差別当事者との連携

[7] 啓発推進、人材育成事業

- 人権セミナー「ハンセン病と部落問題」 重ねられた二つの差別 (信州大学教育学部)
- 人権セミナー「企業で差別事件がおきたとき何が大事でどうすればいいか」
- 人権セミナー「『かかわり』その内と外」 臨床心理士からみた学校
- 人権セミナー「江戸の被差別民衆・浅草弾左衛門の役割と信濃」
- 人権セミナー「部落史を活かすために」 授業・教科書、部落史の観点から
- 人権セミナー「馬一頭分のモツを食べる会」(食文化を考える)
- 人権セミナー「風林火山と獵師 山本勘助と職人」 「聖なる空間としての善光寺、差別と聖性」
- ・長野県部落解放研究集会の企画・運営・事務
- ・ドキュメンタリー「英ちゃん」 70年目の修学旅行 制作

[8] 福祉のまちづくり、人材育成事業

- ・2級ヘルパー養成研修
- ・ガイドヘルパー養成研修

[] 反差別ネットワーク (さまざまな差別問題・被差別当事者とのネットワーク)

【会費】(別紙)

【役員】(別紙)

【スタッフ】 スタッフ(20人)、専任スタッフ(2人)

〒380-0934 長野県長野市中御所3-2-22国労長野会館内
TEL 026-225-5045 FAX 026-227-0212
E-MAIL jinken-nagano@vesta.ocn.ne.jp
URL <http://www12.ocn.ne.jp/~jkn-ngn/>